

いっしょうけんめい 一笑懸命



2023(令和5)年11月24日
福山市立日吉台小学校
学年通信 No.21

思い出に残った修学旅行

修学旅行では、準備や子どもたちの送迎等、ありがとうございました。おかげさまで、無事に修学旅行を終えることができました。修学旅行は、学校生活でできない体験を通して、行動力を高めることや仲間とのつながりを深め、協力し、よりよい集団にしようとする態度を育てることをねらいとして取り組んできました。

2日間、子どもたちは京都、奈良、大阪でそれぞれが目的意識をもつとともに、ガイドさんの説明を聞いたり自ら考えて行動したりして、実りある学習となりました。次はどうするか子ども達同士で声をかけたり、時間を意識して行動したりする姿を多く見ることができました。その中で、学年としての課題もありました。課題については、子ども達と振り返りながら、中学へ向けてさらに力を付けられるようにしていきたいと思えます。



たくさん学んだ修学旅行

北崎 愛怜奈

私達は、大阪と京都と奈良に修学旅行に行きました。修学旅行に向けて、九月から自分のめあてを決め、マナーやルールを全体で確認したことをもとに準備をしました。
修学旅行に行つて思い出に残ったことは二つあります。
一つ目は、USJです。アトラクションに乗ったり、買い物をしたりしました。私は、友達と遊園地に行くことがなかったので、とても楽しみました。実際に歩いてみて、たくさん乗る物を見たり、体験したりしました。アトラクションの作りがびっくりしました。乗り物の待ち時間などに他のお客さんと話をする初めての経験をしました。とても楽しかったです。
二つ目は、東大寺です。大仏は画像でも驚くほどの大きさで見るのが楽しかったです。本殿は、四十八メートル以上の大きさを見て学ぶことができました。私の修学旅行のめあては、あいさつをして、時間を守ることです。九月からの二つのことを意識してきました。修学旅行先は、試す場というところで、あいさつ、時間を意識して行動することができました。めあてを達成できたので、これからも続けるべきだなと思いました。
残りの小学校生活では、五分前行動を意識して、あいさつをみんなにできるようにしたいです。そして、目標に挑戦してたくさん経験を積んでいきたいです。

修学旅行で気付いたこと

佐伯 航太

僕の修学旅行のめあては、ルールを守り、他の人に迷惑をかけないでした。なぜこのめあてにしたかというと、ルールを守つてこそ、修学旅行を楽しめると思ったからです。
このめあてを達成するために、あまり大声を出さない、時間を守ることを意識しました。特に時間を守ることについては、清水寺やUSJで、人が多いことを考えて、予定時刻より早く集合できるようにしました。
このようなことを意識しましたが、もう少し考えた方がよかつたと思うこともありました。例えば、二条城や金閣寺の見学の時、素早く動けなかつたり、並びを変えるのに時間がかかってしまつたりしたことがあげられます。この時に、素早く動ければよかつたと思います。
この修学旅行を通して、今自分は何ができていて、何ができていなかったのかを知ることができました。これからの生活の中で、すでにできていることは、このままできるままにしておき、まだできていないことができるようにしていきたいです。
そして、今よりもよい自分として、小学校生活を終えられればと思つています。

成長した修学旅行

大城 大師

修学旅行で心に残ったことは、二条城と金閣寺、東大寺です。
二条城は、「うぐいす張り」といって、廊下は人が歩くとき音がなるようにつくられていました。これは、相手が侵入したときに分かるようにするためだそうです。
金閣寺は、黄金に輝いてとてもきれいでした。この金閣寺を建てるのに、約七億円かかつたと聞いてとても驚きました。
東大寺の大仏は、想像以上に大きかったです。東大寺をつくるために、約二百六十万人が関わっていることを初めて知りました。また、鼻の穴の縦は三十七センチメートル、横は三十五センチメートルです。鼻の穴をくぐることもできました。
二日間を通して、旅行会社の方やバスガイドさんにあいさつをすること、時間を守つて行動することができました。また、みんな決めて決めたルールを守つて楽しく学習することができました。
これから残りの小学校生活で、できることをさらに増やしていきたいです。



裏面もご覧ください。

待ちに待った修学旅行

吉岡 望

六年生になったときから楽しみにしていた修学旅行が十四日、十五日にありました。今回の修学旅行は、どこに行くのか、何のアトラクションに乗るのか、長い時間をかけて私達自身で決めていきました。私は、USJでのキャストさんの接客態度がとても心にのこりました。例えば、ミニオンのシャープペンシルを買ったとき、「とても可愛いものですね」と優しく接してくれました。他にも、シールをくださいといったのむと、シールをくださいました。
学年の目当ては合計三つあります。
一つ目は、ルールを守りながら楽しく学習をする。これは、バスの中や、東大寺などの歴史的建造物などで、迷惑にならないためには必要な目標でした。この目標は、少しはできたと思いますが、バスの中での態度、歴史的建造物などを見学するときに、大きな声で騒いでしまうことがありました。
二つ目は、成長できたと思える修学旅行にする。これは、学校で歴史の授業のときには習わなかつた、大仏の大きさ、その建造物の魅力などをガイドさんから教えていただくことができ、将来的にも役に立つような内容でした。また、USJでは、ここでしか知ることができない、キャストさんの優しさ、思いやりの心が、とても快いものでした。
三つ目は、普段の行動を試す場にする。今回は、清水寺やUSJなどでグループ行動が多くありました。五分前行動などの時間を見ながら活動をしていきました。おくれなためにも、私が学校生活で身につけた、時間を見て行動することを実践できました。
今回の修学旅行では、実践できて達成できたことが多かつたですが、課題も見つかりました。これから自分から考えて繋げていけるように頑張っていきます。

PTCについて

12月6日(水)5時間目(13:40~14:25)にPTCを兼ねて親子での学習活動を行います。場所は、場所は、各教室、多目的教室(南校舎5年1組横)で、分かれて行います。

図画工作科「1まいの板から」の単元で、オルゴールの箱を彫刻刀で彫ります。PTCでは、箱のデザインを考えると行う予定です。保護者の方には、一緒にデザインを考えていただきたいと思います。お忙しいとは思いますが、ぜひご参加ください。